

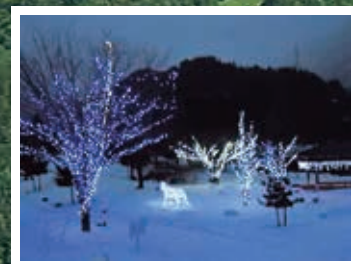
たから流路工完成20周年記念講演会

地域とともに
「安全・安心・発展」
支える
飛驒の砂守

参加無料

事前申込不要

栃尾温泉「荒神の湯」
一帯のイルミネーション



プログラム

■ 開会 14:30

■ 挨拶 14:30

高山市長 **國島芳明**
くにしま・みちひろ

国土交通省北陸地方整備局 **松原 誠**
河川部長 まつばら・まこと

■ 受賞報告 14:40

「高山市立栃尾小学校」
「たから流路工管理協議会」
「特定非営利活動法人 神通砂防」

■ 講演 15:20

**近年の
土砂災害について** (仮)

国土交通省水管理・国土保全局
砂防部 砂防計画課長
今井 一之 (いまい・かずゆき)

火山との共生

～有珠山・昭和新山周辺地域における取り組み～(仮)
三松正夫記念館 館長
三松 三朗 (みまつ・さぶろう)

■ 閉会 16:15

水生生物調査(栃尾小学校4年生)



日時

平成 30年 **11月29日** 木 14:30～16:15
(14:00開場)

会場

奥飛驒総合文化センター
岐阜県高山市奥飛驒温泉郷村上1480 Tel.0578-89-2144

共催： たから流路工管理協議会、特定非営利活動法人神通砂防
高山市、神通川水系砂防事務所

たから流路工完成20周年記念講演会

平成10年5月の竣工式から20周年を迎え、今なお地域の人々に愛され親しまれている「たから流路工」。

「たから流路工」に関わる地元団体のこれまでの活動が評価され、平成29年度に「高山市立栃尾小学校」が土砂災害防止功労者表彰、平成30年度には、「たから流路工管理協議会」がみどりの愛護功労者表彰、「特定非営利活動法人神通砂防」が土砂災害防止功労者表彰を受賞されました。これらを記念すると共に、この機会を通して、活火山焼岳を抱える奥飛騨地域の災害や防災について、みんなで考え、伝えるため、記念講演会を開催します。

講師



国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部 砂防計画課長

今井 一之

いまい・かずゆき／京都府生まれ。昭和60年建設省入省。平成16年北陸地方整備局松本砂防事務所長。24年国土交通省水管理・国土保全局砂防部砂防計画課砂防計画調整官。26年四国地方整備局河川部長。27年国土交通省水管理・国土保全局砂防部保全課長。29年より現職。



三松正夫記念館 館長

三松 三朗

みまつ・さぶろう／大阪府吹田市出身。北海道札幌市在住。1977年噴火後の有珠山周辺地域の防災教育体制の構築などに、北海道大学名誉教授岡田弘氏とともに尽力。館長を務める「三松正夫記念館」は、1943-45年の有珠山噴火を詳細に観察記録した「ミマツダイヤグラム」などを残した義父三松正夫の全資料を保管展示している。

土砂災害防止功労者表彰（国土交通大臣表彰）

● 高山市立栃尾小学校

地元で発生した土砂災害の記憶を風化させないために被災者の体験談や防災講演を『聞き』、砂防資料館（奥飛騨さぼう塾）や砂防施設見学を通して、土砂災害の恐ろしさや、防災・砂防施設の必要性、効果を『学び』、学校内や一般の方を対象とした砂防講演会で学んだことを発表する（『伝える』）など、砂防・防災学習を通して土砂災害防止思想の普及・啓発活動を継続的に実施し、地域防災の担い手育成に努めています。



砂防堰堤を見学



砂防講演会での発表

● 特定非営利活動法人 神通砂防

防災広報誌の発行や防災啓発インフラツアーの企画運営など、地域住民や広く一般への啓発活動、地元小学校での砂防教室実施など地域防災の担い手育成、土砂災害発生時の住民等救助活動支援、砂防設備の草刈りや特定外来生物（植物）オオハongoソウの除去など施設維持管理・環境保全、地域づくりのための活動などを継続的かつ精力的に取り組まれています。



防災学習村ツアー



土石流模型実験装置で砂防施設の機能を説明

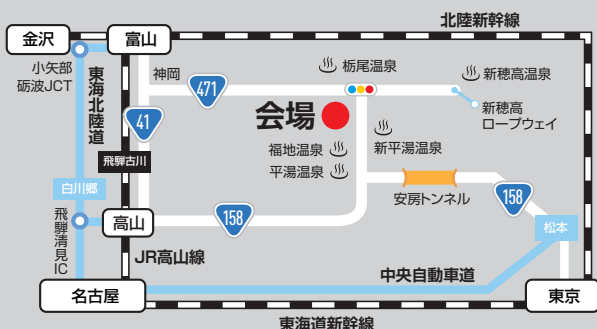
「みどりの愛護」功労者表彰（国土交通大臣表彰）

● たから流路工管理協議会

たから流路工や周辺施設等において、毎年草刈りや清掃活動等を行っており、地域の環境美化意識の高揚や連帯感の醸成を図るなど、環境保全活動に尽力されています。



清掃活動



たから流路工 完成20周年記念講演会

日時 平成30年 11月29日 木

14:30～16:15 (14:00開場)

会場 奥飛騨総合文化センター

高山市奥飛騨温泉郷村上1480 Tel.0578-89-2144